

ブラシンキラップ®

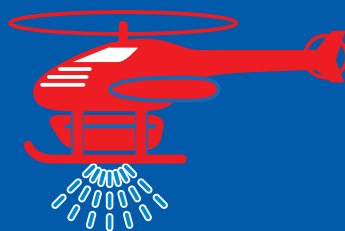
フロアブル

エチプロール・フェリムゾン・フサライド水和剤

殺虫殺菌剤



無人ヘリコプター散布、
少量散布が可能！



カメムシ類
いもち病に卓効！



アカヒゲホソミドリカスミカメ



ミナミアオカメムシ



トゲシラホシカメムシ



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



アカスジカスミカメ



葉いもち



穂いもち

アメダスの恋人 **BLASIN**

ブラシキラップ®フロアブル

ブラシは住友化学(株)の登録商標、キラップはバイエルグループの登録商標

「ブラシキラップフロアブル」は、斑点米カメムシに高い防除効果を示す殺虫剤「キラップ」と米の品質と収量を低下させるいもち病に作用する「ブラシ」を混合した殺虫・殺菌剤です。



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 カメムシ類	300倍	25ℓ/10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布 無人ヘリコプター による散布
	いもち病 カメムシ類	1,000倍	60~150ℓ/10a			
	ウンカ類	8倍	800mℓ/10a			

2020年5月現在の登録内容

エチプロールを含む 農薬の総使用回数	2回以内 (は種時(直播)または移植時 までの処理は1回以内)
フェリムゾンを含む 農薬の総使用回数	2回以内
フサライドを含む 農薬の総使用回数	3回以内

防除効果

いもち病

無人ヘリコプター散布

〔穂いもち〕

2006年 社団法人埼玉県植物防疫協会

供試作物: イネ(品種:キヌヒカリ) 調査:9月19日に、各区3ヶ所、1ヶ所30株について発病率を調査し、被害度を算出。

出穂:8月15日 無処理区:発病率:22.0%
散布:8月19日、8月25日 被度:10.5
散布方法:8倍、800mℓ/10a 無人ヘリコプター散布

カメムシ類

無人ヘリコプター散布

〔アカヒゲホソドリカスミカメ、アカスジカスミカメ〕

2006年 社団法人青森県植物防疫協会

供試作物:イネ(品種:ゆめあり) 散布方法:8倍、800mℓ/10a
発生状況:多発生(アカヒゲホソドリカスミカメ、アカスジカスミカメ) 無人ヘリコプター散布
調査:各区3ヶ所から150~200本の穂を抜き取り、乾燥・調製後、10,000粒あたりの斑点米混入数を調査。

出穂:8月18日
散布:8月15日、8月23日

カメムシ類

無人ヘリコプター散布

〔トゲシロホシカメムシ、アカヒゲカメムシ、ホソリカメムシ、アカスジカスミカメ〕

2010年 社団法人岐阜県植物防疫協会

供試作物:イネ(品種:コシヒカリ) 散布:8月13日
発生状況:少発生(トゲシロホシカメムシ、ホソリカメムシ、アカスジカスミカメ) 無人ヘリコプター散布
調査:9月6日に各区30株3箇所刈り取り調製後、5,000粒あたりの斑点米混入数を調査。

出穂:8月5日

- 使用上の注意**
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
 - 本剤は長期間貯蔵しておくことと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
 - 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布してください。
 - 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は各散布機種別の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 作業中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 散布薬液の飛散によって他の動植物及び自動車やカラートタンの塗装、大理石や御影石等に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、また散布区域・周辺の諸物件に十分注意してください。
 - ⑤ 水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
 - ⑥ 散布終了後は、次の事項を守ってください。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - (b) 使用残りの薬剤はしっかりと密栓し、必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
 - (c) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は適切に処理してください。
 - 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる兼用型速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
 - たばこ、けいとう及びだいず・あずき・いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。桑にかかった場合には25日以上経過してから給桑してください。
 - ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に近づかないようにしてください。無人ヘリコプターによる散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ② 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けてください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
 - 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - 薬液調製時及び散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

